

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名 ：一般国道50号 <small>しもたて</small> 下館バイパス	事業区分 ：一般国道	事業主体 ：国土交通省 関東地方整備局
起終点 ：自：茨城県筑西市下川島 <small>ちくせい しもかわしま</small> 至：茨城県筑西市横塚 <small>ちくせい よこつか</small>		延長 ：10.6 km
事業概要 ： 一般国道50号は、群馬県高崎市から茨城県水戸市に至る延長約150kmの首都圏北部の主要幹線道路である。下館バイパスは、中心市街地の混雑緩和と、それに伴う中心市街地へのアクセスビリティ強化や安全性向上を目的に進めている延長10.6kmの4車線のバイパス事業である。		
S61年度事業化	S58年度都市計画決定 (H年度変更)	H元年度用地着手 H2年度工事着手
全体事業費 ：約390億円		事業進捗率 ：58%
計画交通量 ：30,800台/日		供用済延長 ：4.1 km
費用対効果分析結果	総費用 ：(残事業)/(事業全体) 151/189億円 (事業費：115/153億円 維持管理費：36/36億円)	総便益 ：(残事業)/(事業全体) 839/839億円 (走行時間短縮便益：819/819億円 走行費用減少便益：0/0億円 交通事故減少便益：20/20億円)
事業の効果等 ・個性ある地域の形成（下館中心市街地のシビックコア事業を支援する道路である） ・円滑なモビリティの確保（現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待できる。）		基準年 ：平成17年
関係する地方公共団体等の意見 下館バイパスは、交通渋滞緩和、地域連携強化等に重要な役割を果たすことが期待されており、筑西市をはじめとする関係3市3町1村の首長で構成される「国道50号線整備促進期成同盟会」より早期整備の要望（平成17年5月18日）を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 下館地区中心部においてシビックコア事業（約2.4ha、合同庁舎や美術館、事務所等を整備）が推進されており、市街地の活性化が進められている。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在までに4.1kmを暫定2車線で供用中。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 今後は、引き続き事業を推進し平成19年度に国道294号から市道岡芹小川線までの約1.9kmを暫定2車線供用し、平成20年代半ばに全線暫定2車線で供用（拡幅部は4車線）。その後、周辺及び前後の道路の進捗に応じた交通流の状況の変化を勘案し、全線完成供用を目指して、事業促進を図る。		
施設の構造や工法の変更等 跨道橋2箇所は、コスト縮減の観点から単純PCポステンT桁橋から単純PCコンボ橋への上部工形式の構造変更など、鋭意進める予定である。		
対応方針 ：事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

凡	例
■	供用中
■	事業中
■	再評価箇所
○ ○ ○ ○	調査中



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの、
 1 事業全体の費用分析は、既供用区間を除く区間を対象とした費用分析を行っている。